

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標1_子育て・教育】

施策 1-3_学校教育の充実

基本計画		事業番号	細事業名称
1-03-01	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	10007_02	定時制高校教育振興補助金
1-03-01	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	10184_01	学校音楽教育振興事業補助金
1-03-01	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	10401_01	生きた英語教育推進事業
1-03-01	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	10486_01	学力向上学習支援事業
1-03-01	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	10536_01	別子中学校寄宿舎管理運営費
1-03-01	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	10553_01	ESD活動推進事業
1-03-02	児童・生徒の健全育成	10329_01	あすなろ教室推進事業
1-03-02	児童・生徒の健全育成	10329_02	不登校対策総合推進事業
1-03-02	児童・生徒の健全育成	10331_01	中学校ハートなんでも相談員設置事業
1-03-02	児童・生徒の健全育成	10426_01	小学校ハートなんでも相談員設置事業
1-03-02	児童・生徒の健全育成	10430_01	スクールソーシャルワーカー活用事業
1-03-02	児童・生徒の健全育成	10514_01	学校給食会補助金
1-03-02	児童・生徒の健全育成	10634_01	中学校サポートルーム設置事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10066_01	私立幼稚園私学助成事業補助金
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10175_01	小学校教育充実事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10179_01	中学校教育充実事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10197_01	小学校施設環境整備事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10198_01	中学校施設環境整備事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10236_01	小学校大規模改造事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10284_01	幼稚園施設環境整備事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10363_01	給食運営改善事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10491_01	学校図書館支援事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10501_01	学校給食多子世帯支援事業補助金
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10554_01	スクール・サポート・スタッフ配置事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10556_01	部活動指導員配置事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10568_01	小中学校ICT環境整備推進事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10570_02	西部学校給食センター建設事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10570_03	西部学校給食センター建設推進事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10631_01	小学校トイレ改修事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10632_01	西部学校給食センター開設準備事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10638_01	中学校トイレ改修事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10639_01	小学校照明LED化事業
1-03-03	安全・安心で充実した教育環境の整備	10640_01	中学校照明LED化事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10007_02		
事業名(行目名称)		教育振興補助事業費	細事業名	定時制高校教育振興補助金			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜西高等学校定時制生徒		数値	52		
	手段(どうやって)	定時制高等学校生徒の健全育成活動、生徒会・文化・体育活動及び定時制高等学校において開催される開放講座等への助成を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	勤労青年、不登校・全日制課程中途退学者など多様な生徒が学ぶ高等学校定時制教育の振興及び生涯学習の場を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		237	237	237	237	○負担金補助及び交付金 237千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		237	237	237	237		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
補助対象校			目標値	1	1	1	1
			実績	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
次年度についても今年度と同様の予算規模及び方法について事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
高等学校定時制教育の振興及び生涯学習の場の確保のため、継続して事業を実施する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10184_01		
事業名(行目名称)		学校音楽教育振興費	細事業名	学校音楽教育振興事業補助金			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市小・中学校音楽教育振興会	数値	1			
	手段(どうやって)	学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業等を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	学校音楽教育における教職員の資質向上と児童生徒の合唱表現・演奏技術力の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		201	200	200	193	○負担金補助及び交付金 200千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	201	200	200	193		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
音楽指導者講習会開催回数		目標値	1	1	1	1	1
		実績	3	4	3	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
次年度についても今年度と同様の予算規模及び方法にて事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
学校音楽における教職員の資質・指導力の向上及び小・中学校の児童生徒の音楽教育の充実を図るため、継続して事業を実施する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10401_01		
事業名(行目名称)		生きた英語教育推進費	細事業名	生きた英語教育推進事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小中学校の児童生徒及び教員	数値	9,779人			
	手段(どうやって)	中学校では、ALTと外国語担当教員とのTT(チームティーチング)で、コミュニケーション活動のアドバイス、英文作成等の個別指導を実施している。小学校では、担任と英語指導員及びALTとのTTにより「英語を楽しむ。」「英語を好きになる。」ことに重点を置いて、総合的な学習の時間を利用して英語教育の推進を図っている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	臨場感のある英会話に触れることにより英語教育への関心や意欲を高めるとともに、国際理解教育の推進や英語力の向上を図り、国際的視野に立つ人間性豊かな児童生徒をより多く育成する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)		令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		64,005	55,345	55,345	52,319		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	3,566	2,991	2,991	2,569		
	一般財源	60,439	52,354	52,354	49,750		
<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 37,372千円 ○職員手当等 1,091千円 ○共済費 6,711千円 ○旅費 2,566千円 ○需用費 105千円 ○役務費 173千円 ○使用料及び賃借料 5,529千円 ○備品購入費 274千円 ○負担金補助及び交付金 1,524千円 							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
中学生のTTに対し意欲が向上した割合(%)		目標値	100	100	100	100	100
		実績	100	100	—	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>ALT個人の日本語能力によっては、ALTと小学校教職員とのTT(チームティーチング)の打合せ等で意思疎通が難しい場合もあり、ALTの能力を最大限有効活用するためには、日本人の英語指導員との連携が求められる。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>令和5年夏からALTが3名減員となったことで、従来のALT11名による中学校各校1名配置体制から、ALT7名による配置体制に変更となっている。減員の影響が児童生徒にないように、これまでどおり授業を実際のコミュニケーションの場とし、児童生徒が英語に触れる機会を充実させることでより高度な学びに繋げるため、現場からの意見を反映しながら、ALTの活用方法を検討していく必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>主に中学校を担当するALTだけでなく、小学校を担当する英語指導員とも連携を図りながら、新居浜市の児童・生徒の英語力向上と国際理解教育を一層推進する観点から今後も継続して事業を実施する必要がある。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10486_01		
事業名(行目名称)		学力向上学習支援事業費	細事業名	学力向上学習支援事業			
総合 計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市内小中学校の児童生徒		数値	8,801人		
	手 段 (どうやって)	小中学生の学力向上のため、教育力向上推進委員会や学力向上研修会の開催のほか、ICT学習支援システムを活用する。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	児童生徒の学力向上を目標に、主体的に学ぶ学習集団づくりのために市全体の教職員の当事者意識の高揚と主体的な実践による課題解決を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,050	1,846	1,846	1,737	○報償費 100千円 ○旅費 106千円 ○負担金補助及び交付金 1,640千円	
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		2,050	1,846	1,846	1,737		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
English Summer School参加中学生人数		目標値	0	60	60	60	60
		実績	0	67	61	61	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
教育力向上推進委員会を開催し、学力向上等の取組みについて検討協議を行った。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
学力向上に資する取組を継続して行うため、来年度も同規模の事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
教育力向上推進委員会を開催するとともに、各実践活動部会において、様々な活動を行った。 学力向上のため、学習習慣の定着と思考力・判断力・表現力を育む事業を推進していく必要があることから、引き続き事業を継続実施していく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10536_01		
事業名(行目名称)		別子中学校学び創生事業費	細事業名	別子中学校寄宿舎管理運営費			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子中学校寄宿舎寮生		数値	18人		
	手段(どうやって)	新居浜市街地から生徒を募集し、別子中学校敷地内に整備した寄宿舎で集団生活を送りながら、少人数学習や英語・数学・理科の充実を図る特別な教育課程、ALTの常時在校等による総合的な英語力の育成、地域との協働を含めた多様なESDの推進等の教育活動を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	人口減少と過疎化が進行する別子山地域において、コミュニティの核となる魅力ある学校づくりに取り組み、学校を拠点とした地域の活性化、まちの魅力創出を図るとともに、中学3年間を通じて学力向上及び地域への愛着と誇りを持ち、知・徳・体を備えた人間形成を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		34,902	36,083	36,083	35,480	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 2,635千円 ○職員手当等 336千円 ○共済費 527千円 ○旅費 19千円 ○需用費 3,002千円 ○役務費 235千円 ○委託料 29,128千円 ○使用料及び賃借料 183千円 ○負担金補助及び交付金 18千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	11,868	12,280	12,280	12,190		
	一般財源	23,034	23,803	23,803	23,290		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
英検取得者数 1年4級、2年3級、3年準2級		目標値	16	17		18	18
		実績	16	11		13	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
愛媛県公立小・中学校寄宿舎運営連絡協議会研究大会での先進事例(緊急連絡手段としての寮生の携帯電話の取扱いなど)を参考に寮則の改正を検討する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
物価上昇による寄宿舎管理運営水準の低下を防ぐため、管理運営費を精査するとともに寮費としての実費徴収金についても改定を検討する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
平成28年度に学び創生事業として新たな別子中学校のリスタートを行い、平成30年度から通学の負担軽減と「社会でよりよく生きていく力」が育つ寮として、協働しながら自律を目指して成長する特色ある教育活動が行えた。令和5年度は中学生と地域がパートナーシップを結び、地域を元気にするために取り組んでいる別子ファームが「地域協働型農業体験学習」として博報賞を受賞した。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10553_01		
事業名(行目名称)		ESD活動推進事業費	細事業名	ESD活動推進事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小中学校の児童生徒及び教員	数値	9,822人			
	手段(どうやって)	ネットワークの維持、活用のための協議会開催及び教職員を対象とした研修会の開催。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取組み、解決し、実践化していこうとする態度を育成のねらいとし、将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手を育むESDを行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 300千円 ○旅費 100千円 ○需用費 1,600千円 ○委託料 162千円 	
経費		1,233	2,162	2,162	1,902		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	162	162	162	162		
	一般財源	1,071	2,000	2,000	1,740		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
ESD推進協議会開催回数		目標値	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
持続可能な社会を構築する担い手を育成するためには、関係者とのネットワーク維持や教職員対象の研修等の継続した取組が必要であることから、事業の進め方については、検討が必要。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B:事業の進め方の改善検討				
持続可能な社会を構築する担い手を育成するためには、関係者とのネットワーク維持や教職員対象の研修等の継続した取り組みが必要であることから、引き続き事業実施はするが、事業の進め方については検討が必要。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10329_01		
事業名(行目名称)		いじめ・不登校問題等対策費	細事業名	あすなる教室推進事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	児童・生徒の健全育成	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	不登校児童生徒(不登校傾向にある者を含む)		数値	130人		
	手段(どうやって)	各学校における不登校対策として検討委員会を開催し、不登校問題等について多角的に実態を分析し、その結果を各学校へ提言・資料提供している。学習には関心はあるが、家庭から出ることのできない児童生徒については、在宅学習として、電子メール等を利用して教師が添削・解説し、再度家庭へ配信するなど学習状況の把握に努めるとともに、教室に入れない児童生徒については、相談室等で常時アクセスして学習できるWEB配信型学習教材を活用した学習環境づくりを行う。また、各種の体験活動や宿泊体験活動を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	いじめや不登校などを原因として学校や社会に適応できない児童生徒の学校への復帰と社会的自立を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		11,876	11,987	11,987	11,996	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 8,158千円 ○職員手当等 1,360千円 ○共済費 1,682千円 ○報償費 200千円 ○旅費 269千円 ○需用費 132千円 ○役務費 157千円 ○使用料及び賃借料 24千円 ○負担金補助及び交付金 5千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	11,876	11,987	11,987	11,996		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
あすなる教室通級児童生徒数(人)		目標値	10	10	10	10	10
		実績	49	46	43	57	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
通級・児童生徒数は年々増加傾向にある。十分な指導のために、指導員や講師の負担が大きくなっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
引き続き、あすなる教室を拠点として、学校や家庭など各関係機関と連携した復学・社会的自立に向けた細やかな個別指導の実施を図る。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
通級児童・生徒数は目標値にはまだ及ばない。いじめ・不登校等問題の解消に向け、保護者・学校・その他関係機関との連携に係る拠点としてあすなる教室を運営し、不登校の未然防止や早期発見・解決につながる各事業の継続的な実施が必要とされており、今後も継続して事業を実施する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10329_02		
事業名(行目名称)		いじめ・不登校問題等対策費	細事業名	不登校対策総合推進事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	児童・生徒の健全育成	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	不登校児童生徒(不登校傾向にある者を含む)		数値	130人		
	手段(どうやって)	「あすなる教室」の事業とタイアップして行った。通級の児童生徒及び保護者に対しての相談活動やカウンセリング、また、家庭訪問等を行うことにより、児童生徒の悩みや不安を解消し、学校復帰を目指した。また、不登校対策事例の先進地研修を実施し、市、学校及び家庭での取組・対応についての効果があった。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	30日以上欠席の不登校児童生徒だけでなく、不登校傾向のある児童生徒の学校への復帰。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		7,020	4,376	4,376	5,827	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 305千円 ○報償費 99千円 ○旅費 87千円 ○需用費 10千円 ○委託料 3,875千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	7,020	4,376	4,376	5,827		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
不登校による30日以上欠席児童生徒数(人)		目標値	99	99	99	99	99
		実績	178	230	180	347	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
いじめ重大事案が発生し、いじめ調査委員会を開催することとなり、関係者等へのヒアリングの実施により、委員への報償費等が不足している状態である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
近年、いじめ事案の件数が増加しており、重大事案が発生し、いじめ調査委員会を開催する事態に備え、ある程度の予算を確保しておく必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
あすなる教室との連携の中で、不登校児童生徒の社会的自立に向けた学習支援、体験活動の実施、訪問相談等による相談活動の継続的な取り組みが必要であり、スクール・ソーシャル・ワーカーとの連携も含めて今後も事業を継続していく必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10331_01		
事業名(行目名称)		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	細事業名	中学校ハートなんでも相談員設置事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	児童・生徒の健全育成	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	配置校の生徒及び教員		数値	1,473人		
	手段(どうやって)	スクールカウンセラーを設置していないすべての中学校に「ハートなんでも相談員」を配置し、平成16年度から相談時間数を増加している。生徒、保護者、教員等から相談を受け、適切な対応を図り、また、学校と連携し、家庭訪問等も実施するなど、生徒の問題行動、不登校等未然防止と早期発見・解決を図った。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	生徒たちの悩みや不安、ストレス等を和らげ、豊かな人間性を育む。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,732	2,226	2,226	2,159	○報酬 2,100千円 ○旅費 126千円	
財源	県・国支出金	371	465	465	465		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		1,361	1,761	1,761	1,694		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
相談人数(延べ人数)		目標値	600	600	600	600	600
		実績	980	686	-	638	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
限られた相談日数の中で、相談件数は年々増加しており、相談員への負担が大きくなっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
学校からの要望も高く、必要性も高いことから、県への増員要望も含め、引き続き現状維持の方向で実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
教職経験者や地域の適任者の中から相談員を選任し、生徒・保護者、教員等からの相談に適切な対応を図ることで、生徒の問題行動、不登校等未然防止と早期発見、解決を図ることができた。今後も県の補助事業を積極的に活用しながら事業を継続していく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10426_01		
事業名(行目名称)		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	細事業名	小学校ハートなんでも相談員設置事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	児童・生徒の健全育成	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	配置校の児童及び教員		数値	6,425人		
	手段(どうやって)	比較的大規模校(児童数:400人以上)において、概ね70日、280時間(1日当たり4時間程度)を基本として、「ハートなんでも相談員」を設置し、児童、保護者、教員等からの相談を受け、また、地域や中学校との連携を図り、児童の問題行動、不登校等の未然防止と早期発見・解決を図る。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	児童の悩みや不安、ストレス等を和らげ、豊かな人間性を育み、小中学校の接続・連携の改善を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		3,762	4,158	4,158	3,902	○報酬 3,780千円 ○旅費 378千円	
財源	県・国支出金	1,023	1,116	1,116	1,116		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		2,739	3,042	3,042	2,786		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
相談人数(延べ人数)		目標値	3200	3200	3200	3200	3200
		実績	3203	2842	-	2898	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
限られた相談日数の中で、相談件数は年々増加しており、相談員への負担が大きくなっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
学校からの要望も高く、必要性も高いことから、引き続き現状維持の方向で実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
教職経験者や地域の適任者の中から相談員を選任し、生徒・保護者、教員等からの相談に適切な対応を図ることで、生徒の問題行動、不登校等未然防止と早期発見、解決を図ることができた。今後も県の補助事業を積極的に活用しながら事業を継続していく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10430_01		
事業名(行目名称)		スクールソーシャルワーカー活用事業費	細事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	児童・生徒の健全育成	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小・中学校の児童生徒及び教員		数値	9,779人		
	手段(どうやって)	児童生徒の問題行動等へ対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒が置かれている保護者等の相談に応じたり、福祉関係機関その他の機関とのネットワークを活用して援助を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを各小中学校へ派遣する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	児童生徒の問題行動等へ対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒が置かれている様々な環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行うスクールソーシャルワーカーの活用方法について調査研究を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,423	2,575	2,575	3,209	○報酬 2,352千円 ○旅費 202千円 ○需用費 21千円	
財源	県・国支出金	1,092	1,308	1,308	1,745		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		1,331	1,267	1,267	1,464		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
支援対象となった児童生徒数(人)		目標値	45	45	45	45	45
		実績	79	117	78	81	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和2年度から3名体制で学校からの相談要請に対応しており、スクールソーシャルワーカーの認知が広まったこともあり、相談や依頼件数が増加している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
令和5年度よりスクールソーシャルワーカーを1名増員していることから、予算を拡大し、引き続き相談活動、支援等を充実していく。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
社会福祉等の専門的な知識・技術を持ったスクールソーシャルワーカーを各小中学校へ派遣したり相談業務を実施することにより、増加傾向にある支援対象児童生徒に対する支援を行った。 今後も県の補助事業を活用し、あすなろ教室を拠点として、いじめ・不登校・問題行動等に対応するため、引き続き相談活動・支援等を充実していくとともに、関係機関とのネットワーク構築をより深めていく必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10514_01		
事業名(行目名称)		学校給食推進費	細事業名	学校給食会補助金			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	児童・生徒の健全育成	担当課	学校給食課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	米飯購入7校の児童生徒数	数値	4037			
	手段(どうやって)	米飯購入校と精米を購入し自校で炊飯する学校との価格差について米飯購入校に対して差額を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内同一水準の給食を提供する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		13,546	16,910	16,910	16,408	○負担金補助及び交付金 16,910千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	13,546	16,910	16,910	16,408		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
差額補助実施校数		目標値	7	7	7	7	
		実績	7	7	7	7	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
学校給食費を負担する保護者に対し、米飯購入校と精米を購入し自校で炊飯する学校との価格差を生じさせないためにも、現状のまま維持する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和6年9月に稼働予定の(仮称)西部学校給食センターでの炊飯が可能となるため、米飯を購入することがなくなるため、令和6年1学期までの予算要望とする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
米飯購入校に対して差額を補助することにより、市内同一水準の給食を提供できた。 なお、令和6年2学期より西部学校給食センターからの配送を行えるようになるため令和6年1学期で廃止する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10634_01		
事業名(行目名称)		中学校サポートルーム設置事業費	細事業名	中学校サポートルーム設置事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	児童・生徒の健全育成	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	中萩中学校生徒	数値	454人			
	手段(どうやって)	不登校支援として、中学校内に不登校生徒への支援に特化した取組を行う校内サポートルームを設置する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	専任の支援員により個々の生徒の状況に応じた学習支援を行い、教育機会の確保を図るとともに学校(学級)復帰を支援する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		855	200	200	190	○旅費 29千円 ○需用費 51千円 ○役務費 120千円	
財源	県・国支出金	855	200	200	190		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
サポートルームの利用により不登校の状況に改善が見られた生徒の割合		目標値		30.0%	35.0%	40%	45%
		実績		37.9%	41.2%	75%	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>校内サポートルームの利用者は、長時間や大人数の場を苦痛に感じ、教室に入りにく生徒たちがほとんどであるが、安心感をもって過ごせる場所となっている。また、サポートルームに専任の加配教員とICT支援員が配置されていることで、教員たちの負担軽減にもつながっている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>当初は令和5年度までの県のモデル事業であったが、令和6年度も引き続き専任の加配教員とICT支援員が配属されることとなった。またCOCOLOプランにおいても校内スペシャルサポートルームの拡充が示されていることから、県はモデル校を拡充する予定であり、要望がとおれば追加でもう1校に設置したい。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		C: 事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
<p>サポートルーム登録者のうち、75%が不登校の状況が好転したことから効果があったが、県のモデル事業であるため、令和6年度は規模を縮小して実施。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10066_01		
事業名(行目名称)		私立幼稚園私学助成費	細事業名	私立幼稚園私学助成事業補助金			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	私立幼稚園(1園)及び在籍する園児・保護者		数値	1園		
	手段(どうやって)	私立幼稚園教育環境(人材など)の向上や公私立格差の軽減のため、私立幼稚園へ助成を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本市の就学前教育の充実を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,173	1,356	1,356	463	○負担金補助及び交付金 1,356千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,173	1,356	1,356	463		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
私立幼稚園就園児数割合 ※令和5年度以降は1園分の割合に変更		目標値	10	10	10	10	10
		実績	13.1	11.9	4.7	4.7	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
次年度についても今年度と同様の予算規模及び方法にて事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
就学前教育の振興及び幼稚園経営の安定を図る必要があり、本市においては私立1園が運営された。私立幼稚園の教育環境等の安定化を図るため、縮小後も継続して事業を行う。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10175_01		
事業名(行目名称)		小学校教育充実費	細事業名	小学校教育充実事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	小学生	数値	5,890人			
	手段(どうやって)	小学校における教育活動の充実に必要な経費を予算化する。また、学校図書館図書の本の整備充実を図る。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	小学校における義務教育に必要な教材消耗品の購入、社会科見学のバスの借上げ等を行い、教育活動の充実を図る。また、児童が、読書活動を通じて豊かな人間性や感性・読解力などを育むことができるよう、学校図書館図書の本の充実を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		23,766	25,760	25,760	22,982	○報償費 540千円 ○需用費 17,637千円 ○使用料及び賃借料 7,560千円 ○備品購入費 23千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
一般財源		23,766	25,760	25,760	22,982		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
個人負担を軽減することができた児童数		目標値	6058	5890	5691	5691	5496
		実績	6058	5890	5691	5691	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
教育活動の充実のため、現状どおり継続して実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
義務教育にかかる経費の公費負担により保護者の負担軽減を図ることができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10179_01		
事業名(行目名称)		中学校教育充実費	細事業名	中学校教育充実事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	中学生	数値	3,142人			
	手段(どうやって)	中学校における教育活動の充実に必要な経費を予算化する。また、学校図書館図書等の整備充実を図る。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	中学校における義務教育に必要な教材消耗品の購入、ふるさと学習のバス借上げ等を行い、教育活動の充実を図る。また、生徒が、読書活動を通じて豊かな人間性や感性・読解力などを育むことができるよう学校図書館図書等の充実を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		18,732	20,192	20,192	17,601	○報償費 393千円 ○需用費 14,639千円 ○委託料 240千円 ○使用料及び賃借料 4,920千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
一般財源		18,732	20,192	20,192	17,601		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
個人負担を軽減することができた生徒数		目標値	3098	3142	3110	3110	3111
		実績	3098	3142	3110	3110	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
保護者の負担を軽減するため、現状どおり継続して実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
義務教育にかかる経費の公費負担により保護者の負担軽減を図ることができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10197_01		
事業名(行目名称)		小学校施設環境整備事業	細事業名	小学校施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小学校に通学する児童	数値	5691人			
	手段(どうやって)	施設面では、危険箇所及び老朽化した箇所の工事・修繕を、また、設備面では、保守管理及び故障箇所の修繕等を行っている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	小学校の施設・設備の適正な保守及び維持管理を図り、児童が安全で快適な教育を受けることができる環境をつくる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		104,798	80,297	80,297	71,831	○職員手当等 258千円 ○需用費 17,569千円 ○工事請負費 55,792千円 ○備品購入費 6,678千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	59,500	50,200	50,200	30,000		
	その他	0	5,592	5,592	18,027		
	一般財源	45,298	24,505	24,505	23,804		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
小学生一人当たりの投入費用(円)		目標値	10000	10000	5000	10000	10000
		実績	11937	17792	11530	12622	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
本年度予定している3工事のうち、1工事が完了し、2工事が施行中であり、当初のスケジュールとおりである。すべての工事が完了し、施設修繕料等を執行することで、小学校の安心安全な教育環境の維持管理が図られる							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
学校施設の老朽化が進み、老朽化対策に追われている中、併せてバリアフリー対応等の学校施設の機能向上も求められている状況であり、ニーズに合わせた教育環境の改善が必要である。必要な工事等を精査しながら、子供たちが生き生きと学習や生活を行うことができる安全で豊かな施設環境を確保することが必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
子どもたちの安全を優先し、修繕等により安全で快適な教育環境の維持・確保に努めた。施設の多くが老朽化していく中で、現在の教育環境のニーズに対応し、維持管理に努め、安心で安全な教育環境の整備を進めることが必要であるため、今後も継続して事業を行う。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10198_01		
事業名(行目名称)		中学校施設環境整備事業	細事業名	中学校施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市立中学校に通学する生徒		数値	3110人		
	手段(どうやって)	施設面では、危険箇所及び老朽化した箇所の工事・修繕を、また、設備面では、保守管理及び故障箇所の修繕等を行っている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	中学校の施設・設備の適正な保守及び維持管理を行い、生徒が安全で快適な教育を受けることができる環境をつくる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		58,727	68,880	109,036	86,502	○職員手当等 212千円 ○需用費 12,626千円 ○工事請負費 50,369千円 ○備品購入費 5,673千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	36,400	29,200	29,200	22,300		
	その他	0	21,169	21,169	6,898		
	一般財源	22,327	18,511	58,667	57,304		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
中学生1人あたりの投入費用(円)		目標値	16000	16000	8000	16000	16000
		実績	18800	18690	13700	27814	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
本年度予定している3工事のうち、1工事が完了し、1工事が施行中、1工事が設計途中である。設計途中の工事について昨年度計画していた内容では耐震強度不足と判明したため設計見直しをしている状況である。当工事以外は当初のスケジュールとおりである。すべての工事が完了することまた施設修繕料等を執行することで、中学校の安心安全な教育環境の維持管理が図られる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
学校施設の老朽化が進み、老朽化対策に追われている中、併せてバリアフリー対応等の学校施設の機能向上も求められている状況であり、ニーズに合わせた教育環境の改善が必要である。必要な工事等を精査しながら、子供たちが生き生きと学習や生活を行うことができる安全で豊かな施設環境を確保することが必要である。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年当初予定していた工事がすべて完了し、施設修繕等も実施することで教育環境の改善を図れた。今後においても学校施設の老朽化が進んでいることから必要な工事等を精査し安心安全な教育環境を整備する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10236_01		
事業名(行目名称)		小学校大規模改造事業	細事業名	小学校大規模改造事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小学校に通学する児童		数値	5,691人		
	手段(どうやって)	老朽化した学校施設について、長寿命化工事や大規模改造工事を実施することにより安全・安心で快適な学校施設環境を整備する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	児童生徒の急増期に木造校舎の鉄筋化を一齐に図ったため、建築後40年以上経過した建物が大半を占め、全体的に老朽化が進行しており、様々な改修が必要である。また、施設のバリアフリー化、トイレの洋式化、情報教育への対応など新しい視点での改修も望まれている。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 9,940千円	
経費			9,940	9,940	7,480		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		9,940	9,940	7,480		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
設計を完了した校数		目標値			0	1	1
		実績			0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
金子小学校校舎について、長寿命化・改築を目的とした基本設計を実施している。耐力度調査等の結果を踏まえ改修・改築方針を検討しているが、多額の工事予算が必要となること、今後他の学校の長寿命化・改築方針にも影響があることから、建築住宅課・契約業者と協議を重ねている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
今年度の基本設計に基づき、来年度は実施設計業務委託料を要求する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
金子小学校校舎について、長寿命化・改築を目的とした基本設計を実施し、整備方針を決定した。今後は実施設計に向けて事業を進めていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10284_01		
事業名(行目名称)		幼稚園施設環境整備事業	細事業名	幼稚園施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市公立幼稚園に通園する園児	数値	27人 27			
	手段(どうやって)	危険箇所及び老朽化した箇所の工事・修繕等を随時行っている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	幼稚園施設の適正な保守及び維持管理を行い、園児が安全で快適な教育を受けることができる環境をつくる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			2,133	2,133	1,842	○需用費 1,683千円 ○役員費 106千円 ○委託料 344千円	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		1,000	1,000	0		
	その他		0	0	0		
一般財源			1,133	1,133	1,842		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
園児一人当たりの投入費用(円)		目標値	65735	65000	50000	50000	50000
		実績	63970	13163	52274	68245	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
施設修繕料等を執行することで、維持管理を図る。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
施設・設備の適正な維持管理を図り、幼児が安心して安全な園生活を送ることができるよう実施を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
園児の安全をを優先し、修繕等により安全で快適な教育環境の維持・確保に努めた。園児の安全確保のため今後も継続して事業を行う。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10363_01		
事業名(行目名称)		給食運営改善事業		細事業名	給食運営改善事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育		施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備		担当課	学校給食課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小中学校児童生徒(ひびき分校除く)			数値	9188		
	手段(どうやって)	厨房関係施設設備の修繕及び更新。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	学校給食調理場の施設・設備の維持管理、更新及び改善措置を行い、円滑で安全な学校給食の運営を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		89,779	105,608	105,608	95,890	○職員手当等 121千円 ○需用費 11,692千円 ○使用料及び賃借料 371千円 ○工事請負費 6,776千円 ○備品購入費 86,648千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		64,100	64,100	58,700			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	89,779	41,508	41,508	37,190			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
厨房機器更新台数			目標値	4	5	8	8	2
			実績	4	5	8	8	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
老朽化した調理機器について、予定していた更新を行うことができ、今後も、円滑で安全な学校給食の運営が継続できる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
来年度も老朽化した調理機器の更新が必要である。また、令和6年2学期の西部学校給食センターの供用開始に伴う配送校の変更に合せ、器具類を更新する必要がある。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
厨房関係施設設備の修繕及び更新により、円滑で安全な学校給食の運営ができた。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10491_01		
事業名(行目名称)		学校図書館支援センター充実費	細事業名	学校図書館支援事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	小中学校の学校図書館	数値	26館			
	手段(どうやって)	学校図書館支援センターから各学校に学校司書を派遣し学校図書館の環境整備を進める。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	学校図書館の環境整備や調べ学習や図書資料を活用した授業支援及びESDの取組を行い、児童生徒の主体的な学習活動を充実し豊かな感性を育む。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		22,827	24,587	24,587	23,144	○報酬 15,352千円 ○職員手当等 2,559千円 ○共済費 3,174千円 ○報償費 66千円 ○旅費 906千円 ○需用費 158千円 ○委託料 172千円 ○使用料及び賃借料 2,190千円 ○負担金補助及び交付金 10千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	22,827	24,587	24,587	23,144		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
授業支援件数		目標値	2800	2800	2800	2800	2800
		実績	3718	3593	1629	3576	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
中学校の学校図書支援においては司書の増員が課題となっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
司書の増員が課題となっているが、令和6年度については現状の予算内での対応とする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
小学校を中心に学校司書を派遣し、授業支援の充実が図られた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10501_01		
事業名(行目名称)		学校給食多子世帯支援事業費	細事業名	学校給食多子世帯支援事業補助金			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校給食課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	多子及び所得等の条件を満たす小中学校児童生徒		数値	132		
	手段(どうやって)	市内小中学校に一世帯に3人以上在籍する児童生徒のうち、第3子以降の学校給食費を減免する。保護者から学校を通じて新居浜市学校給食会に減免申請し、新居浜市学校給食会が認定、学校に補助金を振込み、学校から学校給食会に給食材料費(牛乳代を除く)として振り込む。(概算払い、学期ごとに清算する)					
	目的(どんな状態にしたいのか)	子育て世代の経済的負担の軽減と少子化対策の一助とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,252	2,993	2,993	2,296	○役務費 44千円 ○負担金補助及び交付金 2,949千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	100		
一般財源		2,252	2,993	2,993	2,196		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
補助対象児童生徒数		目標値	79	84	55	55	51
		実績	52	51	49	45	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
所得等の条件を満たす多子世帯の経済的負担の軽減が図られた。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
今後も継続したい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
市内小中学校に一世帯に3人以上在籍する児童生徒のうち、所得等の条件を満たす第3子以降の学校給食費を減免することにより、子育て世代の経済的負担の軽減を図ることができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10554_01		
事業名(行目名称)		スクール・サポート・スタッフ配置事業費	細事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小中学校(配置校)の教員		数値	219人		
	手段(どうやって)	教材作成の補助、各種調査等の集計など教員の事務業務を補助するスクール・サポート・スタッフを配置する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	教職員でなければならない業務を明確にするとともに、それ以外の業務についてスクール・サポート・スタッフを積極的に活用することで、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる時間を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		15,222	17,900	17,900	17,440	○報酬 14,541千円 ○職員手当等 2,351千円 ○旅費 1,008千円	
財源	県・国支出金	8,450	9,934	9,934	10,032		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		6,772	7,966	7,966	7,408		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
業務負担軽減を感じた教職員の割合(%)			目標値	85	85	85	85
			実績	93	89	0	96
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>現在、要望のあった25校のうち、県補助対象となった20校に配置し、各校で業務を行っている。業務負担軽減を感じた教職員の割合も高いことから、未配置である残り5校においても配置を要望する声が上がっている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>愛媛県の最低賃金が上がったことによる単価の見直しが必要なため、今年度より拡大すると考えられる。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>児童生徒への指導等に注力できる体制の整備としてスクールサポートスタッフを配置することは有効と感じた教職員は97%に上っており、配置効果は大きいと考えられるため、今後も事業を継続していく。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10556_01		
事業名(行目名称)		部活動指導員配置事業費	細事業名	部活動指導員配置事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	配置校の中学生・教員		数値	764人		
	手段(どうやって)	中学校の部活動において技術的な指導に従事する部活動指導員の配置が制度化されたことから、配置が必要と判断される市内中学校に専門的知識、技能を有する部活動指導員を配置して指導内容を充実させる。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	生徒の活動意欲や競技力の維持、向上を図るとともに、部活動顧問の負担を軽減する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		920	1,119	1,119	767	○報酬 1,015千円 ○旅費 104千円	
財源	県・国支出金	602	727	727	496		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
一般財源		318	392	392	271		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
部活動指導員を配置している部活動数		目標値	4	3	5	5	5
		実績	3	3	3	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
部活動指導員を配置することで生徒の活動意欲や競技力の維持、向上を図るとともに、部活動顧問の負担を軽減することができている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
今後の部活動の地域移行に向けて、地域の指導者の確保を図っていく必要がある。部活動指導員は地域指導者となりうる貴重な人材であることから、配置数を増やしていく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
部活動指導員を配置することで生徒の活動意欲や競技力の維持、向上を図るとともに、部活動顧問の負担を軽減することができた。また、部活動地域移行を目指し、その担い手を模索する上でも、部活動指導員もその手段の一つとして充実を図る必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10568_01		
事業名(行目名称)		小中学校ICT環境整備推進事業費	細事業名	小中学校ICT環境整備推進事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	児童及び生徒		数値	8,801人		
	手段(どうやって)	GIGAスクール構想で整備した1人1台のタブレット端末、無線LAN機器、電子黒板等を適切に維持管理し、必要な機器を追加整備することでICT教育を推進する。また、校務のICT化のため校務用PCや統合型校務支援システム及びICT支援員を整備する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	1人1台のタブレット端末等整備したICT機器を活用し、GIGAスクール構想の主な目的である児童生徒一人一人に個別最適化された教育を実現する。また、校務用ICT機器やシステムを活用することで業務の効率化を図り、教員の負担軽減を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		349,286	347,455	347,455	346,682	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 2,500千円 ○役員費 200千円 ○委託料 28,829千円 ○使用料及び賃借料 314,118千円 ○備品購入費 428千円 ○補償補填及び賠償金 1,380千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	59		
	一般財源	349,286	347,455	347,455	346,623		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
児童生徒一人当たりの投入費用(円)		目標値	40000	38600	39000	39000	39000
		実績	39929	38672	39250	39391	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
<p>国のギガスクール構想で整備した児童生徒一人一台タブレット端末及び校務用PCについて、校内ネットワーク上で活用している。今後はスキルアップを図るための研修会の実施や、必要な機器の購入により効果的な使用ができる環境構築を図る必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
<p>2020年度に小学校、2021年度に中学校の新学習指導要領が施行され、また、文部科学省のGIGAスクール構想により、1人1台のタブレット端末の整備が完了した。今後はICT環境の充実、維持管理、効率的な活用のための教員の研修等が必要不可欠である。また、令和2年4月に本格稼働を始めた統合型校務支援システムについても、安定した運用ができるようになるまでにはフォローが必要である。整備したICT環境の維持管理、効果的に使用するための整備内容の見直し、必要なソフトウェアの追加購入、持ち帰りに備えた家庭への支援などが今後の課題となる。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>整備した児童生徒一人1台タブレットの学校内における利活用が進み、ICT教育を推進することができた。タブレットの家庭への持ち帰りについても開始している。また、校務用PC・校務支援システムを活用することで校務の効率化が図られている。今後についても教員への研修や運用方法の検討を行い、効果的な使用ができる環境構築を図る。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10570_02		
事業名(行目名称)		学校給食センター建設事業	細事業名	西部学校給食センター建設事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	小・中学校児童生徒等	数値	7100			
	手段(どうやって)	DB方式により新たな学校給食センターを整備し、令和6年9月からの供用開始を目指す。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	老朽化した小学校の給食室等の代替施設として、学校給食衛生管理基準に適合した新たな学校給食センターを整備することにより安心・安全な学校給食の提供を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		331,280	1,991,480	1,991,480	1,991,480	○工事請負費 1,991,480千円	
財源	県・国支出金	116,532	369,490	369,490	300,061		
	地方債	110,000	1,258,900	1,258,900	1,289,800		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	104,748	363,090	363,090	401,619		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業の進捗状況(%) (請負金額ベース)		目標値	2	30	50	80	100
		実績	2	12	12	87	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和4年11月から本体工事に着手し、令和5年度末に完成予定。その後、調理リハーサル等、開業準備を行い、令和6年9月に供用開始予定。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
本事業は令和6年8月末に完了予定。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
建物については令和5年度末で完成したことから、令和6年8月末までの開業準備支援をもって事業を終了する。 新センターは予定通り令和6年9月から供用開始予定。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10570_03		
事業名(行目名称)		学校給食センター建設事業	細事業名	西部学校給食センター建設推進事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	小・中学校児童生徒等		数値	7100		
	手段(どうやって)	DB方式により新たな学校給食センターを整備し、令和6年9月からの供用開始を目指す。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	老朽化した小学校の給食室等の代替施設として、学校給食衛生管理基準に適合した新たな学校給食センターを整備することにより安心・安全な学校給食の提供を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		6,477	4,180	4,180	4,180	○委託料 4,180千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	6,477	4,180	4,180	4,180		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業の進捗状況(%) (請負金額ベース)		目標値	2	30	70	95	100
		実績	17	71	71	94	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
令和5年度末に施設が完成予定でありことから、モニタリング業務については令和6年4月末に完了予定。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
令和6年4月末で業務完了予定。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
西部学校給食センターが完成し、業務委託期間の令和6年4月末をもって、事業を終了する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10631_01		
事業名(行目名称)		小学校トイレ改修事業	細事業名	小学校トイレ改修事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小学校に通学する児童		数値	5,890人		
	手段(どうやって)	小学校施設のトイレについて、洋式化、乾式化及び配管などの改修工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	児童生徒の学びの場であるとともに災害時の避難所としての役割もある学校施設について、衛生的で快適なトイレ環境を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,478	74,624	74,624	72,079	○工事請負費 74,624千円	
財源	県・国支出金	0	17,179	17,179	19,552		
	地方債		43,000	43,000	48,300		
	その他	0	14,445	14,445	4,227		
	一般財源	5,478	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
改修工事実施校数		目標値			0	1	2
		実績			0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>前年度に設計した中萩小学校中棟のトイレ改修工事を実施している。トイレが使えない期間・騒音等、学校運営との兼ね合いが課題となっているが、学校側と細やかに打合せを実施することで円滑に工事ができるよう努めている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>今年度に引き続き改修工事を実施する予定で、中萩小学校(北棟)、泉川小学校(北棟)について予算を要求する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>中萩小学校中棟について、予定通りトイレ改修を実施することができた。今後についても継続的に事業を実施することで衛生的で快適なトイレ環境を整備していく。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10632_01		
事業名(行目名称)		西部学校給食センター開設準備事業	細事業名	西部学校給食センター開設準備事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校給食課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	小中学校児童生徒等	数値	7100			
	手段(どうやって)	新たな学校給食センターを整備し、令和6年9月から開業できるよう、準備事務を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	安心、安全な学校給食を安定的に供給する体制づくりを目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,150	55,315	55,315	49,672	○役務費 589千円 ○使用料及び賃借料 7,080千円 ○備品購入費 47,586千円 ○公課費 60千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		35,600	35,600	31,400		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	5,150	19,715	19,715	18,272		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
契約件数		目標値		3	2	2	2
		実績		3	2	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	簡素化する				
西部学校給食センター開設に必要な土地の借用契約、配送車の購入契約を予定どおり締結することができ、学校給食の安定供給のための準備を行うことができた。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
土地使用料は令和46年度まで、配送車の購入費用は令和5年度と6年度に分けて支払う契約であるため、少なくとも来年度だけは現状維持の必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
西部学校給食センター開設に当たり、用地の賃貸借契約及び配送車の購入契約を締結し、学校給食の安定供給のために必要な体制の整備を進めることができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10638_01		
事業名(行目名称)		中学校トイレ改修事業	細事業名	中学校トイレ改修事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内中学校に通学する生徒		数値	3,110人 3110		
	手段(どうやって)	中学校施設のトイレについて、洋式化、乾式化及び配管などの改修工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	児童生徒の学びの場であるとともに災害時の避難所としての役割もある学校施設について、衛生的で快適なトイレ環境を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			51,183	51,183	50,374	○工事請負費 51,183千円	
財源	県・国支出金		10,418	10,418	11,857		
	地方債		30,500	30,500	34,200		
	その他		10,265	10,265	4,317		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
改修工事実施校数		目標値			0	1	1
		実績			0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
角野中学校南棟のトイレ改修工事を実施している。トイレが使えない期間・騒音等、学校運営との兼ね合いが課題となっているが、学校側と細やかに打合せを実施することで円滑に工事ができるよう努めている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
今年度に引き続き改修工事を実施する予定で、角野中学校(北棟)について予算を要求する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
角野中学校南棟について、予定通りトイレ改修を実施することができた。今後についても継続的に事業を実施することで衛生的で快適なトイレ環境を整備していく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10639_01		
事業名(行目名称)		小学校照明LED化事業	細事業名	小学校照明LED化事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	学校教育の充実			
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	0	数値	5691			
	手段(どうやって)	小学校体育館の照明を省エネ効果の高いLED照明に更新する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	小学校体育館の照明に使用されている水銀灯照明が水俣条約により製造・輸入が禁止されたため、今後も使用できる照明器具に更新することで教育環境の維持管理を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 10,221千円	
経費			10,221	10,221	6,641		
財源	県・国支出金		3,406	3,406	2,235		
	地方債		5,100	5,100	3,300		
	その他		1,715	1,715	1,106		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
体育館照明LED化工事実施校数		目標値			0	1	-
		実績			0	1	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
今年度は神郷小学校体育館の照明改修工事を実施している。学校運営に影響の少ない夏休みに工事を実施し、現在は完了検査に向けて準備を進めている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
今年度で全ての小学校体育館照明がLED化されるため、事業を終了する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		B: 事業の進め方の改善検討				
神郷小学校体育館の照明LED化工事を実施することで全小学校体育館の照明LED化を完了した。今後については、2023年11月の水俣条約において2027年末までに蛍光灯の製造と輸出入が禁止されることが決まったため、教室等の蛍光灯照明のLED化について検討を進めていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10640_01		
事業名(行目名称)		中学校照明LED化事業	細事業名 中学校照明LED化事業				
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策 学校教育の充実				
	基本計画	安全・安心で充実した教育環境の整備	担当課 学校教育課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内中学校に通学する児童		数値	3,110人		
	手段(どうやって)	中学校体育館の照明を省エネ効果の高いLED照明に更新する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	中学校体育館の照明に使用されている水銀灯照明が水俣条約により製造・輸入が禁止されたため、今後も使用できる照明器具に更新することで教育環境の維持管理を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			23,680	23,680	18,950	○工事請負費 23,680千円	
財源	県・国支出金		7,892	7,892	6,378		
	地方債		11,800	11,800	9,400		
	その他		3,988	3,988	3,172		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
実施校数		目標値			0	2	3
		実績			0	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
今年度は南中学校、船木中学校体育館の照明改修工事を実施している。学校運営に影響の少ない夏休みに工事を実施し、現在は完了検査に向けて準備を進めている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
今年度は2校で工事を実施しているが、来年度は残り3校についてLED照明への改修工事予算を要求する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
南中学校及び船木中学校体育館の照明LED化工事を実施した。今後は残り3校についても体育館照明LED化を実施し、また、2023年11月の水俣条約において2027年末までに蛍光灯の製造と輸出入が禁止されることが決まったため、教室等の蛍光灯照明のLED化についても検討を進めていく。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				